

## (2) 自動給水栓の普及

流入水量（用水量＋降水量）が増加すると窒素・リンの流出量も増加する傾向にあることから、肥料成分の流出防止には用水量の節減が重要である。

全自動給水栓は手動給水栓に比べ 25 % 程度稲作期間の用水量を節減できる。半自動給水栓はバルブを開けに行く必要があるが、一定の水位になれば自動的に止まるようになっており、ほ場見回りを兼ねた水管理を行うことができ、手動給水栓に比べ 50 % 程度稲作期間の用水量を節減できる。

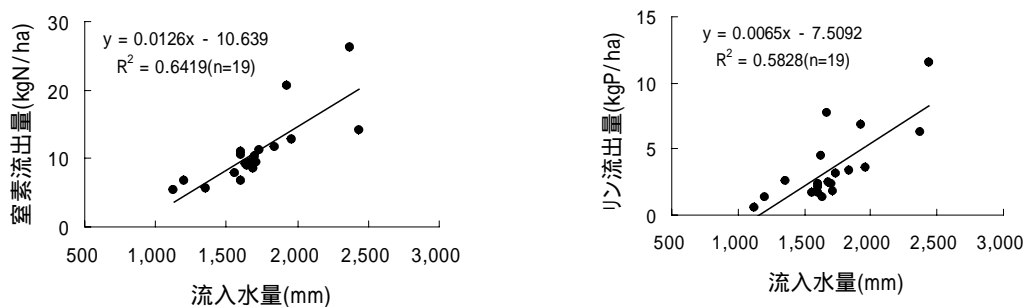


図 - 5 流入水量（用水量＋降水量）と窒素・リン流出量（滋賀農試 1993～99）

表 - 2 自動給水栓の種類

	オープン水路用	パイプライン水路用
全自動給水栓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フロート方式（設定水位で自動止水、タイマーで自動給水）</li> <li>・タイマー方式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フロート方式（設定水位で自動止水、水位低下で自動給水）</li> <li>・タイマー方式</li> </ul>
半自動給水栓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フロート方式（設定水位で自動止水、手動で給水）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フロート方式（設定水位で自動止水、手動で給水）</li> </ul>

全自動給水栓は設定により半自動給水栓として利用可能



写真 - 7 開水路自動給水栓